

## 世界レベルのビールメーカーが 見つけた完璧なレシピ

ニューベルギーブルーイング社は当初クラウドを検討しましたが、クラフトビールの製造にはオンプレミスが必要であることが分かりました。



NEW BELGIUM

消費財 | 米国

### ビジネスの課題

クラフトビール業界は急速に成長しています。常に競合他社の一歩先を歩むために、ニューベルギーブルーイング社では継続的な進化が重要だと考えています。ニューベルギーブルーイング社は、Fat Tire Amber Aleなど、世界レベルのクラフトビールを醸造しており、その開発にテクノロジーを利用しています。同社ではすべてをクラウドで運用することを検討しましたが、それが適切ではないことにすぐに気がきました。

### ソリューションの概要

- Dell EMC PowerEdgeサーバー
- Dell EMC OpenManage Systems Management
- Dell EMC iDRAC
- VMware vSphere

### ビジネス成果

- クラウド オプションに比べて大幅なコスト削減
- オフサイトのソリューションが本来備える最小限のレイテンシーによるメリット
- 使いやすいツールによるシンプル化された管理
- ハイレベルの安全性、セキュリティ、データの整合性
- 卓越したパフォーマンスとネットワークスループットの実現

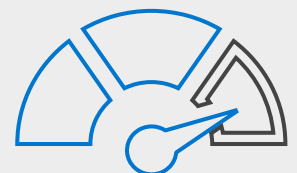
# コスト削減



クラウドと比較した  
オンプレミスのコスト削減効果

# 25%

## 製造能力 向上



データ分析を活用した  
生産能力の向上



ニューベルギーブルーイング社は米国のクラフトビールメーカーです。1988年に創業した従業員所有企業であり、同社が製造したビールは米国の50州すべてと、一部の他の国（カナダ、スウェーデン、ノルウェー、韓国、日本、オーストラリア）で販売されています。ニューベルギーブルーイング社では年間で約100万バレルのビールを製造しており、その規模はクラフトビールメーカーとしては米国で第4位、ビールメーカー全体では第11位に位置付けられます。

## テクノロジーを活用して質の高いビールを製造

ニューベルギーブルーイング社では、社会的な責任と持続可能なビジネスモデルを遵守しながら、ビールの製造に情熱を注いでいます。ITは、原材料の調達から厳密な品質管理、製品のマーケティング、ビジネスの管理に至るまで、ビール製造の各段階で重要な役割を担います。

「当社の最大の課題の1つは、適切な情報を適切なスタッフに適切なタイミングで提供することです」と、ニューベルギーブルーイング社のITディレクター、Travis Morrison氏は述べています。「最適な結果を得るためには、スタッフがより適切な意思決定をできるようにすることが非常に重要です」

年間2桁の成長を続け、コロラド州を本拠地とするニューベルギーブルーイング社は、ノースカロライナ州アッシュビルに2つ目の醸造所を開くことを決定しました。拡大するテクノロジーのニーズに対応するため、同社が当初注目していたのはクラウドコンピューティングです。しかし、ニューベルギーブルーイング社にはハイパフォーマンスなオンプレミスのソリューションが必要であることが、間もなく明らかになりました。

「当社のミッションクリティカルなワークロードの大部分は、シンプルにローカルで実行する必要があります」と、シニアシステム管理者のAdam Little氏は補足しています。「これには、製造に関するプログラム可能なロジック制御とプロセス自動化、つまりバルブの開

閉なども含まれます。WANリンクを介して実行するリスクを冒すことはできません。そのため、Dell EMC PowerEdgeサーバーを選択しました」

「PowerEdgeの極めて優れたデータ分析機能を活用して生産のダウンタイムを削減し、瓶詰めラインでの生産量を25%増加できました」

ニューベルギーブルーイング社  
自動化エンジニア、Ray Matthews氏

## コストを削減してデータの整合性を確保

競争の激しいクラフトビール市場では、効率性の向上とコスト削減の実現が成功の鍵になります。ニューベルギーブルーイング社では、材料のより適切な使用方法、エネルギー消費の削減方法、環境への影響を最小化する方法を常に探しています。

66% 運用コスト

プロビジョニングの時間 90%

サポートによる解決までの時間 80%

同社ではPowerEdgeサーバーにより、高いレベルでのデータの整合性、安全性、およびセキュリティを維持し、レイテンシーを最小限に抑えながら、データの指数関数的な増加に対応することができました。同社のワークロードには、生産アプリケーションからERP/CRMシステム、SQLデータベース、SharePoint、Skype for Businessに至るまで、幅広い種類が存在します。

ニュー ベルギー ブルーイング社のオンプレミス サーバーとDell EMC OpenManageやiDRACなどの時間を節約する管理ツールにより、オフサイトのクラウド施設と比較して大幅なコスト削減も実現できました。さらに、同社は急速に高まる需要に対応するため、生産の制約を克服しました。「PowerEdgeの極めて優れたデータ分析機能を活用して生産のダウンタイムを削減し、瓶詰めラインでの生産量を25%増加できました」と、ニュー ベルギー ブルーイング社の生産アプリケーション自動化担当エンジニア、Ray Matthews氏はコメントしています。

## 「醸造所パッケージ」の作成

ニュー ベルギー ブルーイング社がノース カロライナ州に2つ目の醸造所を建設中の2016年に、建設工事を進めながら生産アプリケーションの開発とテストを実施することが必要になりました。このことを実現するために同社では「醸造所パッケージ」というコードネームのプロジェクトを発足させ、モジュラー型のPowerEdge VRTXサーバーをその中心に据えています。

プロジェクトでは最大30台の仮想マシン（VM）が組み込まれ、ニュー ベルギー ブルーイング社のPowerEdge VRTXサーバーがサーバー、ストレージ、ネットワーキング、管理を統合して、生産アプリケーションと他のアプリケーションのサポートを行うためのパッケージが作成されました。その後、同社は「醸造所パッケージ」を海外に出荷し、ソフトウェアのインストールを行うと即座に稼働して、アシュビル工場でのパッケージ使用を開始することができました

「PowerEdgeサーバーは当社の醸造プロセスの基盤です。レシピのアレンジからバルブの開閉に至るまで、あらゆる処理に対応してくれます」

ニュー ベルギー ブルーイング社、シニア システム エンジニア、Erin Williams氏

「PowerEdge VRTXは、醸造所を運営するうえで必要なものをすべて備えていました」と、ニュー ベルギー ブルーイング社のシニア システム エンジニアのErin Williams氏は述べています。「アプリケーションの開発とテスト、その後の移行作業を、本番稼働環境で行うことができました」

## 真のパートナーとの連携

ITディレクターのMorrison氏によると、ニュー ベルギー ブルーイング社の従業員は独自の企業文化を持っています。熱心に働き、独特の製品を生み出すことを好み、美味しいクラフト ビールを楽しみます。Morrison氏は、革新的なテクノロジー ソリューションを提供することでニュー ベルギー ブルーイング社が市場のニーズに応えられるようにすることが自分の役割だと認識しています。最後にMorrison氏は、「Dell EMCが当社のニーズを理解するための時間を十分にとり、パートナーとして目標達成のために連携していただいたことに感謝します」と締めくくりました。



デル・テクノロジーズの詳細情報  
VMware vSphere



デル・テクノロジーズのエキスパートに  
問い合わせる



ソーシャル メディアでつながる